

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業環境部
	17030	森林環境創造事業		課名	農林振興課 農林政策G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生			06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-		06:林業振興費		
事業予定期間	H 14 ~ R 13 年度	主な根拠法令要綱等	三重の森林づくり条例、森林環境創造事業実施要領		

② 目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者
	目的	森林所有者から管理委託された環境林に位置付けられた森林を、次世代を含めた市民がその恩恵を享受する公共財として位置付け、森林の持つ公益的機能(水源かん養、土砂災害防止、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)の持続的かつ高度な発揮を目指す。
概要	森林の持つ公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目指し、認定林業事業体が森林所有者から20年間の管理委託を受けた環境林に位置付けられた約800haの森林を、間伐により針広混交林(針葉樹・広葉樹が混交した多様な森林)へ誘導する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 50ha ○森林環境創造事業(県単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 2ha ○森林環境創造事業(市単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 38ha ○環境林新規認定 3ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 50ha ○森林環境創造事業(県単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 2ha ○森林環境創造事業(市単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 38ha ○環境林新規認定 3ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 50ha ○森林環境創造事業(県単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 2ha ○森林環境創造事業(市単) <ul style="list-style-type: none"> ・伐捨間伐 38ha ○環境林新規認定 3ha 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金)業務委託切捨間伐 77.42ha ○森林環境創造事業(市単)業務委託切捨間伐 2.58ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金)業務委託切捨間伐 47.15ha ○森林環境創造事業(市単)切捨間伐 2.68ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境創造事業(交付金)業務委託切捨間伐 62.46ha ○森林環境創造事業(市単)切捨間伐 1.91ha 	
事業費	計画額	事業費	18,000千円	18,000千円	18,000千円
		国庫支出金	5,000千円	5,000千円	5,000千円
		県支出金	4,240千円	4,240千円	4,240千円
		地方債			
		その他			
	一般財源	8,760千円	8,760千円	8,760千円	
	予算額	事業費	17,231千円	17,279千円	16,956千円
		国庫支出金	8,000千円	8,001千円	8,000千円
		県支出金	1,240千円	2,066千円	1,885千円
		地方債			
		その他			
	一般財源	7,991千円	7,212千円	7,071千円	
決算額	事業費 ①	16,997千円	17,180千円	16,850千円	
	国庫支出金	8,000千円	8,001千円	8,000千円	
	県支出金	1,075千円	2,066千円	1,886千円	
	地方債				
	その他				
一般財源	7,922千円	7,113千円	6,964千円		
人件費	総人件費 ②	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	一般職員	2,355千円	2,352千円	2,371千円	
	所要人員	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		19,352千円	19,532千円	19,221千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 環境林整備面積 単年度の環境林間伐面積	活動	計画値	90	90
				実績値	80	50
				単位	ha	ha
	②	名称 環境林整備計画認定面積 単年度の環境林整備計画認定面積	成果	計画値	3	3
				実績値	0	0
				単位	ha	ha
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 間伐特別措置法が令和2年度に措置期限を迎える見込みであったが10年間延長となった。このことから、今までどおり国からの交付金(美しい森林づくり基盤整備交付金)が受けられるよう、特定間伐等促進計画の採択を受け財源確保に努める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 特定間伐等促進計画の採択を受け、今後10年、国から交付金を受けることが可能となった。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 加太北在家西部地区ほか5箇所において、間伐を(64.37ha)を実施した。 環境林整備計画新規認定面積拡大に向けて取り組んだ。	B まずは実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 国・県の交付金等を活用した事業に加え、市単独の事業を実施することにより64.37haの環境林整備を実施することができ、森林の持つ公益的機能の高度発揮に寄与することができた。 環境林整備計画新規認定面積の拡大はできなかった。(令和3年度末で環境林整備計画の新規認定は終了した。)	B まずは成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 特定間伐等促進計画の採択を受け、今後10年、国から交付金を受けることが可能となったが、計画どおり進捗させるためには財源確保が必要である。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続 (拡大) <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (現状維持) <input type="checkbox"/> 継続 (縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 機会を捉えて、国、県への予算確保の要望を行い財源確保に努める。 国・県の交付金等を活用した事業とともに市単独事業を併せて実施し事業量確保に努める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 針葉樹と広葉樹が混在した多様な植生による森林へ誘導し、水源かん養、土砂流出防止など森林の持つ公益的機能の高度発揮が期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	産業環境部 農林振興課 農林政策グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	B
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		16,956 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	16,956 千円
	令和4年度への繰越額	千円